

2025年度 医療と介護の連携支援センター事業評価表

資料 3 - 4

大項目	中項目	No	医介項目	評価項目	配点条件	係数条件	判断基準
1 ・ 運 営 状 況	(1) 公正・中立性の確保	1		市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守しているか	○:3 ×:0		以下の2点について満たしていれば○とする。 ①相談者に介護サービス事業者を紹介した際の記録を3件確認し、全てに(事業者リスト等を利用するなどして)複数事業者を紹介していることが記録されていること。 ②相談者に特定の介護サービス事業者を紹介した際の記録を3件確認し、全てに特定の事業者のみしか紹介出来ない合理的な理由が記録されていること。
	(2) 職員のチームアプローチ	2		特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっているか	○:3 ×:0		担当者不在時の対応についてヒアリングし、例えば「複数担当者を置いている。」「記録を共有し、進捗を確認できるようにしている」など、具体的な対応を回答することが出来た場合に○とする。
		3	医介	医療の専門知識が必要な場合に、必要に応じて、同法人の医療機関の医療職が助言又は連携して対応している	○:3 ×:0		月次の相談業務実績報告書・別紙を確認し、同法人内の医師等による協力をあおぎ対応している事例が1件でもあれば○とする。
	(3) 人員配置基準の遵守	4		センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか。	○:3 ×:0	2.0	年間を通して人材が確保できており、かつ人材確保や定着のための取組を行っている場合に○とする。 年間を通して人材確保できていないが、人材確保や定着のための取組を行っている場合に△とする。 年間を通して人材確保できておらず、人材確保や定着のための取組を行っていない場合に×とする。
	(4) 職員の人材育成	5	医介	各職員の能力や経歴等に合わせ、在宅医療・介護連携の推進に必要な医療上の基礎知識等を含む、業務に必要な知識を習得するための研修を受講させる等、「高齢者支援センター職員人材育成方針」を参考にし、計画的に人材育成を行っている	○:3 ×:0		センター職員の研修受講の計画書や誰がいつどのような研修を受講したか分かる書類等について確認出来た場合に○とする。
	(5) 個人情報の保護	6		相談時において、相談者のプライバシーが確保されている	○:3 ×:0		相談室など相談対応するスペースを確認し、他の来所者から見えにくく、相談内容が聞こえないよう配慮されていれば○とする。
		7		個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。	○:3 △:2 ×:0		下記2点を満たしている場合に○、1点のみの場合は△とする。 ①個人情報保護マニュアルがデータまたは紙面で整備されている。 ②ケースの利用者基本情報もしくは予防ケアプラン契約時の同意書の書式を3件確認し、全ての同意書欄に署名がある。
	(6) 苦情対応体制の整備	8		センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか。	○:3 ×:0		苦情対応記録3件を確認し、以下の4点を全て満たしていれば○とする。 ※苦情がなかった場合、苦情を受けた際の対応について聞き取りで確認し、以下①～④を満たす回答が得られれば○とする。 ①説明や謝罪など、苦情への対応を実施したことが確認出来ること。 ②苦情があった日から実働2日以内に何等かの対応をしていることが記録上確認出来ること。 ③苦情の内容と対処についてセンター内で共有方法(朝礼で説明、記録を回覧等)の記録があることまたは聞き取りにて具体的に回答出来ること。 ④苦情に対する再発防止策について記録があることまたは聞き取りにて具体的に回答出来ること。
	(7) 広報	9		ホームページ及び広報誌を活用して、センターの認知度向上のための取組みを行っている。	○:3 ×:0		センターのホームページ及び広報誌を作成し、認知度向上のための取組について、それぞれ年1回以上情報発信・配布がされていれば○とする。 資料だけではどのように情報発信・配布がされているかわからない場合には聞き取りで確認する。
【自由記載項目】 「運営状況」において、課題解決に向けた効果的な対応上の工夫や配慮などにより、特筆すべき結果・成果が得られた事例があれば記載		【記載欄】					特筆すべき結果・成果が得られた事例であると判断されたもの。
評価得点							

大項目	中項目	No	医介項目	評価項目	配点条件	係数条件	判断基準
2・総合相談支援業務	(1) 高齢者支援センターの後方支援	10	医介	医療依存度の高い高齢者の対応について高齢者支援センターから求めがあった場合は、助言を行ったり、必要に応じて同行して対応する等、適切な支援を行っている	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		高齢者支援センターアンケートにて「問1(2) ケース(総合相談、権利擁護等)に関して相談や支援を求めた際、医療と介護の連携支援センターからの確かな助言や同行訪問等の適切な対応がありましたか?」の問いに「適切だった」「おおむね適切だった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
		11	医介	高齢者支援センターへの助言や同行訪問を行った後、必要に応じて、その後の高齢者支援センターの対応状況の確認やフォロー等、継続的な支援を行っている	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		高齢者支援センターアンケートにて「問1(3) ケース(総合相談、権利擁護等)に関して相談した後、必要に応じて、その後の状況確認やフォロー等の継続的な支援がありましたか?」の問いに「あった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
	【自由記載項目】 「総合相談支援業務」において、課題解決に向けた効果的な対応上の工夫や配慮などにより、特筆すべき結果・成果が得られた事例があれば記載		【記載欄】				
評価得点							

大項目	中項目	No	医介項目	評価項目	配点条件	係数条件	判断基準
3 ・ 権 利 擁 護 業 務	(1)虐待対応・防止	12	医介	主に医療機関に対して、虐待の早期発見や防止に向けた研修会の開催や情報提供等、普及啓発を実施している	○:3 ×:0		医療機関への虐待の早期発見や防止に関する普及啓発のための取組の実施について具体的に回答出来た場合に○とする。
	(2)成年後見制度利用等支援	13	医介	入院または入所中の高齢者(在宅復帰の予定がない者に限る)の状態を面談等により的確に判断したうえで、成年後見制度活用のため支援を行っている。	○:3 一:対象外		入院または入所中の高齢者(在宅復帰の予定がない者に限る)について、実際に市長申立てをした件数が1件以上確認できれば○とする。権利擁護検討委員会に確認し、市長申立の内容に著しい不備があった場合は×とする。ただし、申立て支援したケースがない場合は対象外とする。
	【自由記載項目】 「権利擁護業務」において、課題解決に向けた効果的な対応上の工夫や配慮などにより、特筆すべき結果・成果が得られた事例があれば記載	【記載欄】					特筆すべき結果・成果が得られた事例であると判断されたもの。
評価得点							

大項目	中項目	No	医介項目	評価項目	配点条件	係数条件	判断基準
4 ・ 包 括 的 ・ 継 続 的 ケ ア マ ネ ジ メ ン ト 業 務	(1)介護支援専門員に対する研修	14	医介	介護支援専門員に対して関係機関と連携し、医療分野又は医療介護連携に関する研修会を実施している	○:3 ×:0		関係機関と連携し、医療分野又は医療介護連携に関する研修会が1回以上実施されていることが確認できた場合に○とする。
	(2)介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの質の向上の実施	15	医介	医療分野又は医療・介護連携に関する研修会等の取組が、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの質の向上に役立っている	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		高齢者支援センターアンケートにて「【問4-2】問4-1の研修会等は、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの質の向上に役立ちましたか?」の問いに「役立った」「おおむね役立った」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
	【自由記載項目】 「包括的・継続的ケアマネジメント業務」において、課題解決に向けた効果的な対応上の工夫や配慮などにより、特筆すべき結果・成果が得られた事例があれば記載	【記載欄】					特筆すべき結果・成果が得られた事例であると判断されたもの。

大項目	中項目	No	医介項目	評価項目	配点条件	係数条件	判断基準
5 ・ 在 宅 医 療 ・ 介 護 連 携 推 進 事 業	地域ケア会議企画運営支援	16	医介	高齢者支援センターが課題を抽出するにあたり、連携支援センターが持つ視点や情報を用いて、地域の医療・介護関係者双方が抱える課題を抽出できるように支援を行っている	○:3 ×:0		地域ケア推進会議計画書の「医療と介護の連携支援センター確認」欄にチェックが入っており、かつ、地域ケア会議参加報告書の「支援センターへの支援内容」において、課題抽出について支援していることが確認できれば、○とする。
		17	医介	地域課題に対して効果的な解決策等の議論ができるよう、参加者の選定など地域ケア推進会議の企画・運営について支援を行っている	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		高齢者支援センターアンケートにて「問2医療と介護の連携支援センターが行う地域ケア推進会議の企画・運営の支援は、会議でより良い議論を行ううえで効果的でしたか?」の問いに「効果的だった」「おおむね効果的だった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
		18	医介	高齢者支援センターが開催する医療・介護連携に関わる地域ケア推進会議で、適切な議論がなされている	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0	2.0	地域ケア会議参加者アンケートにて「地域の課題解決に向けて、効果的な話し合いができたと思いますか?」の問いに「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
		19	医介	地域ケア推進会議終了後、高齢者支援センターが会議の振り返りを行い、今後の対応策や展開について検討する支援を行っている	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		高齢者支援センターアンケートにて「問3地域ケア推進会議終了後、今後の対応策や展開について助言や調整等の支援がありましたか?」の問いに「支援があった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
	地域ケア会議の実施	20	医介	高齢者支援センターに対する後方支援や市民等からの相談対応、医療・介護専門職からの相談対応等の業務を通して、在宅医療・介護連携に関する情報を収集・分析し、抽出した地域課題をテーマとして実施している。	○:3 ×:0		地域ケア推進会議計画書の「7地域課題の(1)課題設定の背景」の項目を確認し、高齢者支援センターに対する後方支援や市民等からの相談対応、医療・介護専門職からの相談対応等から分析した結果抽出された課題であることが具体的に示されていれば○。または、以上についての内容が別途資料(参加者向けの会議資料、チラシ等)を以て示されていた場合も○とする。
		21	医介	地域ケア推進会議では、医療・介護の連携に関する地域の課題解決のために効果的な話し合いがされている。	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		①居宅アンケートにて「問3地域ケア推進会議は地域の課題解決に向けて有効なものとなっていると思いますか?」の問いに「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合と、 ②地域ケア会議参加者アンケートにて「問2地域の課題解決に向けて、効果的な話し合いができたと思いますか?」の問いに「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合を足した平均値を算出し、配点条件に基づいた評価を行う。
		22	医介	地域ケア会議終了後、議事録等により参加者へ会議の結果をフィードバックしている。	○:3 ×:0		地域ケア推進会議終了後、参加者に送付した議事録等が全件確認できれば○とする。

		23	医介	地域ケア推進会議の結果にもとづき、地域の関係機関が協力して、医療・介護連携に関する課題解決に取り組んでいる。	○:3 ×:0	2.0	地域ケア推進会議報告書の「10.課題に対する対応策・今後の地域での展開」を確認し、ヒアリングにてその後地域の関係機関と検討された解決策に取り組んでいることを具体的に説明することができれば○とする。
		24		地域ケア推進会議の計画書と報告書は「地域ケア会議運営ガイドライン」で定めている期限内に提出している。	90%以上:3 90%未満 80%以上:2 80%未満 70%以上:1 70%未満:0	2.0	①地域ケア推進会議計画書の提出日(收受日)が開催日の1か月前までに提出されている割合と、 ②地域ケア推進会議報告書の提出日(收受日)が開催日の翌月10日までに提出されている割合について、それぞれの期限遵守率を算出する。 算出された①と②の割合のうち、低い方の数値を配点条件に当てはめ、評価を行う。 (例:①が95%、②が85%の場合は、低い方の「85%」が適用され、点数は「2」となる。)
		25		市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応しているか。	○:3 ×:0		参加者が署名した誓約書やそれに準ずる資料を確認する。署名されている書類が1件でも確認できれば○とする。
	(3)医療介護専門職からの相談対応	26	医介	医療機関からの相談に対し、迅速に対応している	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		医療機関アンケートにて「問3(1)医療と介護の連携支援センターの対応は迅速でしたか?」の問いに「迅速だった」「おおむね迅速だった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
		27	医介	医療機関からの相談に対し、適切な提案や支援を行っている	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		医療機関アンケートにて「問3(2)医療と介護の連携について、適切な提案や支援がありましたか?」の問いに「適切だった」「おおむね適切だった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
		28	医介	介護の専門職からの相談に対し、迅速に対応している	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		居宅アンケートにて「問2(1)医療依存度の高い困難ケース等に関する相談に対する対応は迅速でしたか?」の問いに「迅速だった」「おおむね迅速だった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
		29	医介	介護の専門職からの相談に対し、専門的な助言や訪問の同行等の支援を適切に行っている	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		居宅アンケートにて「問2(2)医療依存度の高い困難ケース等に関する相談に対して専門的な助言や訪問の同行等の適切な支援がありましたか?」の問いに「適切だった」「おおむね適切だった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
	(4)地域の医療介護関係者の連携体制構築支援	30	医介	高齢者支援センターの求めに応じ、市内外の介護関係者や医療関係者との連携体制を構築するための支援を行っている	○:3 ×:0		高齢者支援センターの求めに応じ、市内外の介護関係者や医療関係者の紹介等を1件でも行っていれば、○とする。
	(5)高齢者支援センター職員に対する勉強会の実施等	31	医介	医療上の基礎知識など在宅医療・介護連携の推進に必要な知識を習得するための勉強会等を実施し、高齢者支援センターの職員の知識の習得に役立っている。	80%以上:3 80%未満 65%以上:2 65%未満 50%以上:1 50%未満:0		支援センターアンケートにて「問4ー1 医療と介護の連携支援センターが実施した在宅医療・介護連携に関する研修会等は、必要な知識の習得に役立ちましたか?」の問いに「役立った」「おおむね役だった」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
	(6)在宅医療介護連携に関する課題の整理	32	医介	高齢者支援センターの支援や地域ケア会議への参画、医療介護関係者への相談対応、その他医療介護情報の把握を通じて、市全域の在宅医療・介護連携に関する課題の整理を行っている。	○:3 ×:0		月次報告書「分析シート」に毎月の相談業務において収集した課題が整理されており、かつ、「地域ケア会議参加報告書」の「会議で見えた課題」の項目に会議ごとの課題の記載があれば○とする。
	(7)対応策の企画・調整等	33	医介	相談業務など日頃の業務を通して整理した課題や地域ケア推進会議をとおして抽出した課題について、対応策の調査、研究及び企画調整を行っている	○:3 ×:0		月次報告書「分析シート」の「課題解決の検討にあたり必要な事項・情報等」において課題ごとの対応策の記載があり、かつ、「地域ケア会議参加報告書」の「今後に向けた取組」の項目に会議ごとの取組の記載があれば○とする。
		34	医介	連携支援センターが把握・抽出した課題をもとに町プロ協議会等の市地域ケア会議に位置付けられる協議体に提起された課題がある	○:3 ×:0	2.0	連携支援センターが把握した課題をもとに町プロ協議会に提起した議題があれば、○とする。町プロ協議会資料等を確認し提起した課題を確認する。
	(8)町プロの推進支援	35	医介	連携ツールなど町プロ協議会で決定したプロジェクトが地域で推進されるよう支援を行っている	○:3 ×:0		町プロ協議会で決定したプロジェクトを地域で推進するための支援について聞き取りを行い、具体的な支援実績があれば○とする。
	(9)地域住民等への普及啓発	36	医介	医療及び介護の制度について理解促進のため、地域住民及び専門職に対し講演会を実施したり、独自のパンフレットを作成したりするなど普及啓発を行っている	○:3 ×:0		医療・介護の制度について理解促進を図るための普及啓発を行った際の資料(講演会のチラシ、研修の実施報告書、普及啓発のパンフレット等)が確認できれば、○とする。

(10)その他	37	医介	市内の医療機関に連携支援センターの役割を理解してもらっている。	70%以上:3 70%未満 65%以上:2 65%未満 60%以上:1 60%未満:0		医療機関アンケートにて「問2 医療と介護の連携支援センターとの関わりについて」の問いに「センターの事業を知っており、利用したことがある」「センターの事業内容を知っているが、利用したことはない」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
	38	医介	市内の介護保険サービス事業所に連携支援センターの役割を理解してもらっている。	95%以上:3 95%未満 90%以上:2 90%未満 85%以上:1 85%未満:0		居宅アンケートにて「問1 医療と介護の連携支援センターと貴事業所の関わりについて」の問いに「関わりあり」「関わりはないが事業内容は理解している」と回答した割合について、配点条件に基づいた評価を行う。
	39	医介	市外の医療機関にかかっている市民の支援を円滑に行うことができるように、市外の医療機関等と顔の見える関係を構築している	○:3 ×:0		月次報告書「相談実績報告書 別紙」に市外医療機関からの相談実績または「その他会議体やイベント等への参加記録」に市外医療機関の会議等への出席や市外医療機関への戸別訪問の実績が記載されていれば○とする。
	【記載欄】					特筆すべき結果・成果が得られた事例であると判断されたもの。
【自由記載項目】 「在宅医療・介護連携推進事業」において、課題解決に向けた効果的な対応上の工夫や配慮などにより、特筆すべき結果・成果が得られた事例があれば記載(3つまで)	【記載欄】					特筆すべき結果・成果が得られた事例であると判断されたもの。
	【記載欄】					特筆すべき結果・成果が得られた事例であると判断されたもの。
	【記載欄】					特筆すべき結果・成果が得られた事例であると判断されたもの。
評価得点						

大項目	中項目	No	医介項目	評価項目	配点条件	係数条件	判断基準
6 介護 予防 ケア マネ ジ メ ン ト	(1)介護予防ケアマネジメント	40	医介	高齢者支援センターの依頼に基づき、介護予防支援・介護予防ケアマネジメントを実施している	○:3 ×:0		介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの請求件数が1件でもあれば、○とする
		41		利用者の「目標とする生活」に近づけるよう、明確かつ達成可能な目標設定がされたプランを作成している。	○:3 ×:0		様式一式を1部提出、明確かつ達成可能な目標設定がされたプランを作成していることが確認できた場合に○とする。
		42		介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけているか。	○:3 ×:0		様式一式を1部提出、国基準・市基準型サービス以外の地域資源(同居・別居の親族の支援は除く)を活用したプランであることが確認できた場合に○とする。
	【自由記載項目】 「介護予防ケアマネジメント」において、課題解決に向けた効果的な対応上の工夫や配慮などにより、特筆すべき結果・成果が得られた事例があれば記載	【記載欄】					特筆すべき結果・成果が得られた事例であると判断されたもの。
評価得点							